

# グリーンボンド / グリーンボンド・プログラム 外部レビューフォーム

## セクション1. 基本情報

発行体名:	三菱電機クレジット株式会社
グリーンボンド又は フレームワークの名称	三菱電機クレジット株式会社 第3回無担保社債
外部レビュー者名:	株式会社 日本格付研究所
本フォーム記入日:	2020年3月31日
レビュー公表日:	2020年3月31日

## セクション 2. レビューの概要

### レビュー対象

本レビューでは、以下の要素について審査し、グリーンボンド原則との適合性を確認した。:

- |  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金使途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定プロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング          |

### ROLE(S) OF Independent External REVIEW PROVIDER

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンドオピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証        | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:      |  |

注:複数のレビュー、異なる提供者がいる場合、レビューごとに個別のレビューフォームを提供してください。

## レビューのサマリー 及び 評価レポート全文へのURLリンク

三菱電機クレジット株式会社（三菱電機クレジット）は、三菱電機グループ唯一の総合ファイナンス会社。1970年に三菱電機商品クレジット株式会社として発足、1982年に地域月販会社10社を統合し現在の社名となった。2003年3月にダイヤモンドリース（現三菱UFJリース）の出資を受け、新たに三菱電機とダイヤモンドリースの合併事業として発足しており、両者の持分法適用関連会社（いずれも出資比率45%）となっている。

業務内容は、三菱電機ならびに三菱電機グループの自社使用機器等のリース・割賦や三菱グループ製品・商流に係るリースを中心に、家電製品・オール電化機器等に関するクレジット事業、三菱電機社員向けの融資事業、管理組合向けのマンションリフォームローン事業なども行っている。

三菱電機クレジットは、三菱電機グループの環境ビジョンおよび三菱電機クレジットの環境方針に沿って事業を行っており、太陽光などの再生可能エネルギー発電設備を保有している顧客への融資をおこなっている。また、環境に配慮した空調・冷熱機器、LED(発光ダイオード)、PV（太陽光パネル）を物件とするリース・融資取引等については、今後さらに取り組みを強化していくことを確認した。

また、持続可能な世界を実現するために、事業活動を通じたSDGsに貢献する取り組みの検討開始など、環境・社会に対する取り組みも今後一層強化されることが見込まれる。

今般の評価対象は、三菱電機クレジットが発行する私募債（本私募債）である。本私募債の資金用途は、太陽光発電設備を保有する事業者への融資資金のリファイナンスに充当される。資金充当の対象となる太陽光発電設備により、年平均4,694t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>削減効果があることを確認した。また、三菱電機クレジットが融資を行っている3件の太陽光発電設備では、事業実施に際して想定される環境へのネガティブな影響に対し、適切な回避策を講じていることを確認した。

管理運営体制面については、プロジェクトの選定およびプロセスにおいて、審査部長・取締役副社長による検討ののち、取締役社長による承認および親会社である三菱UFJリースの審査部による決裁が行われており、経営陣まで適切なプロジェクトの承認体制が敷かれていることを確認した。また、資金管理において、内部統制および外部監査の体制が適切に構築されていること、グリーンボンド実行における開示体制及び実行後のレポート内容も妥当であること等から、JCRでは三菱電機クレジットの管理運営体制は適切であると評価している。

この結果、本私募債について、JCRグリーンボンド評価手法に基づき、「グリーン性評価（資金用途）」において“g1”、「管理・運営・透明性評価」において“m1”としたため、「JCRグリーンボンド評価」は“Green 1”とした。

また、JCRは、本私募債が、グリーンボンド原則 及び環境省によるグリーンボンドガイドライン において求められる項目について基準を満たしていると評価している。

評価レポート全文へのURLリンクは以下をご参照。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

# セクション 3. レビューの詳細

レビュー者は、できる限り以下の情報を、コメントの枠を使用し、できる限り提供することが推奨される。

## 1. 資金使途

### 本項目に係るコメント欄：

#### a. プロジェクトの環境改善効果について

i. 資金使途の100%が環境改善効果を有する太陽光発電設備を保有・開発する事業者への融資資金のリファイナンスであり、環境改善効果が期待できる。

ii. 資金使途は、グリーンボンド原則または環境省のグリーンボンドガイドラインに定義されているグリーンプロジェクトのうち、「再生可能エネルギー」に該当する。

#### b. 環境に対する負の影響について

三菱電機クレジットでは、太陽光発電事業を保有する事業者への融資を行うにあたり、プロジェクトの内容を調査する部署であるエネルギー・インフラソリューション営業部において、事業者からの書類の取り寄せやヒアリングによって、自然災害や現地条例の遵守状況の確認など、太陽光発電設備の設置に伴う環境及び地域へのネガティブインパクトの有無について必要なデューデリジェンスを行っている。当該デューデリジェンスの結果、今回の対象となる太陽光発電設備3件において環境に対する負の影響は想定されていないことをJCRでは確認した。

### GBPにおける資金使途の分類：

再生可能エネルギー

エネルギー効率

汚染防止及び管理

生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理

陸上及び水生生物の多様性の保全

グリーン輸送

持続可能な水資源および廃水管理

気候変動への対応

高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術及びプロセス

グリーンビルディング

発行時点では明らかでなかったが、現時点においてGBP分類に該当することが予想される、または、まだGBP分類に含まれていないが適格グリーンプロジェクト分野と思われるもの

その他

GBP以外のタクソノミー(プロジェクト分類)を使用している場合はそれを特定すること。:

## 2. プロジェクトの評価と選定プロセス

### 本項目に係るコメント欄：

発行体は資金使途について、明確な環境面での目標、プロジェクトの選定基準およびプロセスを定めている。  
当該事項は、JCRによる評価レポートの中で開示されている。

### 評価と選定

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 発行体の環境面での持続可能性に係る目標が定められている                 | <input checked="" type="checkbox"/> 対象事業が選定基準分類に適合していることを決定するプロセスが文書化されている    |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの資金使途としての適格プロジェクト基準が定義され、透明性が確保されている | <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施に伴うESGリスクの可能性が特定され、管理されるプロセスが文書化されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の評価と選定基準の概要が公表されている                       | <input type="checkbox"/> その他  |

### 責任及びアカウンタビリティに係る情報

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 評価・選定基準は外部からのアドバイスまたは検証を受けている | <input checked="" type="checkbox"/> 社内で評価している |
| <input type="checkbox"/> その他                           |   |

## 3. 調達資金の管理

### 本項目に係るコメント欄：

a 本私募債は、本レポート内に記載している太陽光発電設備を保有する事業者に対する融資資金のリファイナンスのために全額が速やかに充当される予定であり、未充当資金は存在しない。  
なお、調達後の入出金に関しては、三菱電機クレジット社内において適切に管理されている。

### 調達資金の追跡管理：

- |  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの調達資金は分別管理され、または適切な方法で発行体によって追跡管理されている。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未充当資金の一時的運用方法について、開示されている。                     |
| <input type="checkbox"/> その他   |

### 追加開示事項：

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 新規投資への充当のみ           | <input type="checkbox"/> 既存・新規投資両方への充当    |
| <input checked="" type="checkbox"/> 個別の支出に充当  | <input type="checkbox"/> ポートフォリオベースの支出に充当 |
| <input type="checkbox"/> 未充当資金のポートフォリオバランスを開示 | <input type="checkbox"/> その他              |

## 4. レポーティング

### 本項目に係るコメント欄：

#### a. 資金の充当状況に係るレポーティング

本私募債の資金使途は、本評価レポートによって投資家に対して開示される。また、調達した資金の充当状況については、三菱電機クレジットがグリーンボンドに関するレポートを作成し、投資家に対して開示する予定である。

#### b. 環境改善効果に係るレポーティング

三菱電機クレジットは、グリーンボンド・フレームワークにおいて、今回の資金使途の対象である太陽光発電設備3件について、以下の項目を環境改善効果にかかるレポーティング項目として投資家に対して開示することを予定している。

- ・対象となるプロジェクトの一覧
- ・適格グリーンプロジェクトによって発電された発電量（出力規格に基づく理論値）
- ・適格グリーンプロジェクトによって削減されたCO2排出量（出力規格に基づく理論値）

### 資金使途のレポーティング：

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 個別プロジェクト・ベース | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトのポートフォリオ・ベース |
| <input type="checkbox"/> 個別債券への紐づけ    | <input type="checkbox"/> その他                           |

### レポーティング情報：

- |  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 充当金額 | <input type="checkbox"/> 投資額に占めるグリーンボンドによる資金充当の割合 |
| <input type="checkbox"/> その他：            |   |

### 頻度：

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年に一度 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他：            |                                |

### インパクトレポーティング：

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 個別プロジェクト・ベース | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトのポートフォリオ・ベース |
| <input type="checkbox"/> 個別債券への紐づけ    | <input type="checkbox"/> その他                           |

### 頻度：

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 年に一度 | <input type="checkbox"/> 半年に一度 |
| <input type="checkbox"/> その他：            |                                |

### レポーティング情報（理論値または実績値）：

- |   |   |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> GHG 排出量 / 削減量 | <input type="checkbox"/> エネルギー削減量                   |
| <input type="checkbox"/> 水使用削減量                   | <input checked="" type="checkbox"/> その他ESG指標<br>発電量 |

## 開示方法

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 財務諸表における公表          | <input type="checkbox"/> サステナビリティレポートにおける公表         |
| <input type="checkbox"/> アドホック（非定期）発行物における公表 | <input checked="" type="checkbox"/> その他：<br>投資家への開示 |
| <input type="checkbox"/> レポーティングの外部レビュー      |   |

## 有用なリンク

三菱電機クレジットのCSRに係る取り組み	<a href="https://www.credit.co.jp/company/08csr/">https://www.credit.co.jp/company/08csr/</a>
JCRのグリーンファイナンス評価手法	<a href="https://www.jcr.co.jp/greenfinance/">https://www.jcr.co.jp/greenfinance/</a>

## 外部レビューを受けた場合、その種類

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンド・オピニオン | <input type="checkbox"/> 認証                    |
| <input type="checkbox"/> 検証         | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他:       |  |

レビュー提供者: 株式会社 日本格付研究所

公表日: 2020年3月31日

## グリーンボンド原則に定められた、独立レビュー業者の役割

1. **セカンド・パーティ・オピニオン**：環境に関する専門知識を持ち、発行体から独立した機関は、セカンド・パーティ・オピニオンを出すことができる。そのような機関は、グリーンボンドフレームワークに関する発行体のアドバイザーからの独立性や、情報障壁など適切な手順を機関内に設け、セカンド・パーティ・オピニオンの独立性を保証することが必要である。セカンド・パーティ・オピニオンは通常グリーンボンド原則への準拠に関する評価を伴い、特に、発行体の包括的な目標、戦略、環境に関する持続可能性に関する方針および（または）プロセスおよび資金使途となるプロジェクトの環境に関する持続可能性の評価が含まれる。
2. **検証**：発行体は、ビジネスプロセスに関するおよび（または）環境基準についての設定された基準に関する第三者検証を受けることができる。検証は内部または外部基準または発行体による目標に沿っているかにフォーカスする。また、対象資産の環境に関する持続可能な特徴の評価は"検証"と呼ばれ、外部基準を参照することができる。発行体の資金管理、グリーンボンドによる調達資金の配分に関する内部追跡システム、環境へのインパクトまたは、グリーンボンド原則への準拠に関する保証または証明も"検証"と呼ぶことができる。
3. **認証**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金使途は、認識されている外部グリーン標準・ラベルの認証を受けることができる。標準またはラベルは、特定の基準を定義し、その定義は認証基準に沿っているかを証明できる能力を有し、認定された第三者機関によって、その基準に沿っているかどうかを検査される。
4. **グリーンボンドスコアリング・レーティング**：発行体は、グリーンボンドフレームワークに関連したグリーンボンドまたは資金使途は、スコアリング・レーティング手法を有している専門調査会社や格付機関といった第三者によって評価もしくは調査されることことができる。成果物は、環境改善のデータ、グリーンボンド原則に準じたプロセスまたはその他2度目標などのベンチマークにフォーカスしたものが考えられる。スコアリング・レーティングは、重要な環境リスクを反映しているとしても信用格付とは明確に異なる。